

第6号様式（第5の2関係）

議事概要

会議名	令和7年度第2回いちき串木野警察署協議会
会議日時	令和7年11月26日（水）午後2時から午後3時50分まで
会議場所	鹿児島県交通安全協会いちき串木野地区協会2階会議室
出席者	1 警察署協議会 会長以下 4人 2 警察署 署長以下 8人

（会議の概要）

第1 警察署長からの説明等

警察署長において「管内の治安情勢と警察の取組状況」の説明を行った。

委員からの質問及び回答については下記のとおりである。

1 心理的虐待の認知方法について

【質問】 児童虐待事案の中でも特に「心理的虐待」は、目に見えにくいものであると思われるが、警察はどのような通報で心理的虐待を認知するのか。

【回答】 心理的虐待で多いのは、子供が夫婦げんかを目撃したケースである。

夫婦げんかについては、夫や妻、同居の親族等から警察に通報して認知する場合や付近住民から言い争う声がするとか、子供の泣き声がするといった第三者から通報がなされる場合もある。

警察としては、児童の安全を最優先として、児童相談所等の関係機関と連携して対応している。

2 管内の居住外国人について

【質問】 いちき串木野市内に居住する外国人の割合が増えているようであるが、技能実習生が増えているのか、それとも留学生が増えているのか。

【回答】 当署では、管内の水産加工会社や食品加工会社からの依頼に基づき、技能実習生に対する交通講話や防犯講話を実施している。

外国人技能実習生については入れ替わりも多いことから、増加の要因については一概には言えない。

いずれにしても、技能実習生をはじめ管内に居住する外国人の方々が安心して生活できるよう、管内の企業等と連携して交通指導や防犯指導を行ってまいりたい。

3 高齢者虐待について

【質問】 高齢者の単身世帯も増えており、今後、高齢者虐待事案の増加も懸念されるところであるが、警察はどのような対策をするのか。

【回答】 高齢者虐待について、警察が認知するケースで多いのは、親子間のトラブルである。

優先すべきは虐待を受けている高齢者の安全確保であり、市担当課等の関係機関と連携して避難先の確保や助言・指導を行っている。

4 管内的人身事故の特徴について

【質問】 市来駐在所管内では国道3号で人身事故が多く発生しているとのことがあるが、どのような事故が多いのか。

【回答】 事故形態では、動静不注視による追突事故、安全不確認による出会い頭事故が多くを占めている

管内の国道3号は、信号交差点が少ない区間もあり漫然運転に陥りやすくなる傾向が見られる。

当署としては、パトカーによるレッドランや駐留監視活動など運転手に緊張感を持たせる街頭活動を行うとともに、交通安全協会等関係機関・団体と連携して、各種事故防止対策を推進しているところである。

第2 委員からの意見・要望等

1 詐欺被害防止に関する広報活動状況について

【質問】 特殊詐欺被害がまだ増加傾向にあると思うが、管内での広報活動の状況を教えていただきたい。

金融機関だけでなく、病院や多くの施設とも連携して広報を行っていくと良いのではないかと思う。

【回答】 管内では、9月末現在、うそ電話詐欺は発生件数は増加しているものの被害額は減少している。

一方、SNS型投資・ロマンス詐欺の発生件数は減少しているものの、被害額は約2,700万円と大幅に増加している。

このような現状を踏まえ、当署では

- 年金支給日におけるキャンペーン
- 地域の高齢者クラブでの防犯講話
- 市広報誌による注意喚起
- コンビニ・金融機関に対する防犯指導、声かけ訓練

等を行い、詐欺被害の未然防止に努めている。

また、委員から金融機関だけでなく、多くの施設と連携すべきではとの御意見であるが、被害防止のためのポスターに関しては、病院やスーパー等の商業施設に対しても掲示を依頼しており、注意喚起のチラシについても各種防犯講話や地域安全運動期間等あらゆる機会を活用して配布している。

今後も金融機関のみならず、多くの関係機関・団体と連携して各種取組を行い、被害の未然防止に努めてまいりたい。

2 警察活動の広報について

【質問】 鹿児島県警の「instagram」を活用し、もう少しPRしてみてはどうか。

警察の活動を市民に届ける、とても良いツールだと思われる。

いちき串木野警察署の活動もたくさん載せてほしい。

【回答】 県警察では

- 様々な現場で活躍する警察職員の姿
- 県警察による各種イベント

等を積極的に情報発信している。

委員からの御意見のとおり、instagram等のSNSは警察活動を広報する効果的なツールであると認識している。

当署では、これまでキッズフェスタでの鑑識体験や交通安全フェアにおける子供用制服の試着、白バイやパトカーの展示を行い、先日も「産業まつり」や「ちかびフェスタ」で車両展示や制服の試着、被害者支援に関する広報などを行ったところである。

また、12月7日に開催される「いちきふれあいフェスタ」にも警察車両の展示を行い、地域の方との触れあい活動を行う予定としている。

県警のinstagramには、警察本部が各署の取組状況を集約して掲載しており、当署での活動状況も、都度、警察本部に報告している。

今後もinstagramも含めて、市民の方に当署の取組状況をPRして、警察活動に関する理解と協力を得られるように努めてまいりたい。

3 その他

(1) 詐欺被害未然防止

【質問】 詐欺被害に遭う方が金融機関に来た時には既に騙されているので、そのような方が少しでも減るよう広報活動をしっかりしてほしい。

【回答】 詐欺被害に遭った方の中には「まさか自分が被害に遭うとは思っていないかった」と注意喚起に対して他人事と捉えていた方も多いことから、被害を身近に感じていただけるよう実際にあった事案や手口等について、より一層広報するなど被害防止広報に努めてまいりたい。

【質問】 公民館等の会合の際、高齢の方も「うそ電話詐欺が発生している」という認識はしているが、ただ漠然と広報しても末端までは浸透しないと考える。

身边でも発生している現状を踏まえ、色々な方法を検討して広報をしてほしい。

【回答】 高齢者クラブ等での講話を実施しているところではあるが、関係機関・団体等と連携して、高齢者など市民が多く集まるイベントや各種防犯キャンペーン等での広報・啓発活動を行ってまいりたい。

(2) 優良防犯電話の活用

【質問】 うそ電話詐欺等の被害防止対策として、65歳以上の方を対象に「着信があると警告音声を発する、通話を自動録音する」などの機能がついた優良防犯電話の購入費を補助する制度があるので、広報等の際の参考にしてほしい。

【回答】 被害防止のための施策や対策を住民の方が活用できるよう、あらゆる機会を通じて広報してまいりたい。

(3) 非違事案防止対策

【質問】 依然として新聞等で警察の不祥事も見かけるが、いちき串木野警察署からこのような署員が出ないよう色々な取組をしてほしい。

【回答】 非違事案を防止するために、当署においては、部外講師による講話や各種教養を行っているところであるが、非違事案を防止する一つの考え方として、署の一体感や署員を支えていただいている家族との繋がりが重要であると考えている。

当署では、家族参加型のレクレーションとして、本年8月に管内の海岸での地引き網体験を企画し、多くの署員や家族が参加した。

また、10月には冠岳登山を計画して、署員数名による実地踏査も終え署員や家族約20人程度が参加予定であったが、悪天候のため延期して来年3月に実施予定である。

これからも、署員が憂いなく職務に専念できる環境を整え、「住民の方の安全・安心を守る」という職責を果たせるよう取り組んでまいりたい。

第3 質問と答申

【質問】

当署管内では、うそ電話詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺が依然として発生しているが、今後取り組むべき対策等について委員の方々の御意見を伺いたい。

【答申】

- 地道にするしかないが、末端に浸透するような広報をする必要がある。
- 講話の際、実際に発生した事案や体験談等を話すことによって聞き手が「他人事ではない」と危機感を持つのではないかと思われる。
- 公民館単位で実施されている「ころばん体操教室」に出向いて講話してみてはどうか。
- 市内の各事業所や民家に設置されている防災無線は多くの市民が耳を傾けると思われるため、防災無線での広報も検討してはどうか。
- 実際に被害に遭った方や被害に遭いかけた方の体験談を聞くことによって一人一人が身近で起こりうる話として危機感を持つのではないか。
- 「ケーススタディ」による手法も被害の抑止に効果的であると思う。

第4 鑑識業務の紹介・体験

協議会の各委員に警察業務を知ってもらうため、鑑識作業に使用する各種資機材を展示した上で、当署生活安全刑事課鑑識係員において、鑑識業務について紹介とともに、指紋採取等の鑑識作業の体験を行った。

備 考	
-----	--